

本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～



原町三中だより

令和4年10月14日(金)
第25号
発行責任者
校長 志賀 嘉津美
電話 22-3802

「やさしい日本語」で国際交流を

ここ南相馬市にも多くの外国人の方がいらっしゃいます(令和3年12月現在:約20か国より449名)。そこでの関わりは人と人のネットワークを拡げ、地域社会に新しい活力を生み出します。日本人にとっては、地域の魅力を再発見する機会となるとともに、国際理解が深まるきっかけとなります。

下太田地区が「外国人住民と地域との共生モデル地区」であることから、本校でも国際理解教育、特に外国の方とのコミュニケーションづくりについて学んでいます。

10月13日(木)南相馬市多文化共生センター SAKURA の荒様、只野様を講師にお迎えし、全校生を対象に「コミュニケーションはやさしい日本語で」というタイトルでお話をいただきました。

日本にお仕事で来る方のほとんどが数か月間の日本語研修を受けてくる…。であれば、難しい日本語の表現を簡単でわかりやすい「やさしい日本語」に言い換えれば、コミュニケーションをとることは十分に可能であるということです。

相手の立場や気持ちになって、思いやりを持った態度で接することが国際交流の第一歩であること学びました。



「やさしい日本語」にするポイント

- 1 文は短く
- 2 漢語(熟語)は和語で
- 3 伝えたいことを整理して、順序よく
- 4 二重否定、カタカナ、オノマトペ、敬語は避ける
- 5 最後まではっきり話す 文末は「です ます」で
(例) 朝、起きたら歯磨きして、洗顔します。
↓これを「やさしい日本語」にすると
朝起きます。歯を磨きます。顔を洗います。

原町区・小高区合同小中学校音楽祭 10月14日(金)

南相馬市民文化会館ゆめはっと大ホールにおきまして標記音楽祭が開催されました。本校からは6名の吹奏楽部員がSaxアンサンブルで参加し、「ハンガリー狂詩曲第2番」を演奏しました。既にお知らせのとおり、本来であれば保護者の皆様に会場にご来場いただき、お子様の発表に温かいご声援をいただきたいところでしたが、新型コロナウイルス感染防止をふまえて音楽祭は無観客となりました。吹奏楽部の演奏につきましては、太田地区文化祭(10/23)及び大甕地区芸能文化祭(11/6)そして燦稜祭(10/29)でお楽しみいただきたいと思います。



学校図書館へ行こう 本校の図書館は、校舎2階中央にあり、昼休みには多くの生徒が訪れます。約8,000冊の蔵書が原町三中の学びと読書を支えています。本年度も中央図書館から学校司書として木幡さんに週2日間ご勤務いただき、担当教員や図書委員とともに学校図書館の運営や読書活動の推進にあたっていただいています。図書委員は、本の貸し出し業務や「〇〇コーナー」等の設置を行い、「いつも行きたくなる場所、いつまでも居たい場所」として魅力ある図書館づくりを行っています。

